

## ■ 国内競技における 救急体制について コマンドー金澤

明けましておめでとうございます。

読者各位に於かれてはゆっくり正月休みを過ごされたことと察します。こちらは風邪に祟られ不本意な年末年始になりましたが、気を取り直して新たな原稿のネタを探しにということなのです。

今月はパワーリフティング競技そのものについてのものではありませんが、ここ数年間密接になってきているもので、看過出来ないと思われるものもあり個人的なことを書いていきたいと思う。ただ、以下に書く事は必ず参考になることなので、少しでも興味を示して頂ければ幸いです。

### 国内競技における救急体制について

昨年の全国大会からは、A.E.D. (AUTOMATED EXTERNAL DEFIBRILLATOR) 自動体外式除細動機が設置されてるところでの開催が義務づけられていることを御存知の方がどれぐらいいらっしゃるだろうか？今ではローソンなどにも設置されてるぐらいだから、誰でも実物を見た事はあるでしょう。J.P.A. 医科学委員会でも普通救急講習或いは日赤救急員の資格を取得することを勧められていた。

現在医療機関或いは消防吏員の方以外で、普通救急講習を受講された方はそれなりにいらっしゃると思うが、日赤救急員は知ってるところ京都支部発給で自分、大阪支部発給で和田高平さんだけである。この両者の違いは受講時間の違いもあるが、消防署などでは1人でやることを教えてるところが多い。日赤の場合はチームワークでの受講になり、常に現場を想定したもものになっているので、その分受講時間が多くなるのは当然である。過去目の前で肩の亜脱臼、腰椎椎間板ヘルニアの発生などには整体師の立場として対応したが、長時間の鼻血の止血などは救急員の部分で対応したことがあった。

日赤救急員の受講を自分が勧める理由としては、基本的に現場では1人での対応は無理であることを懸念してるからである。例えば現場で心肺停止を確認したとしよう。大概の方は、A.E.D. を自分で探すか、誰かが持って来てくれるのを待つ、119番通報などの対応になる。しかし、それでは遅いのである。A.E.D. が現場付近にあったとして、使い出すまでにどれだけの時間がかかるか。1分1秒でも早く対応することが必要である。即ち心臓マッサージと人工呼吸が先なのである。

下の写真は、京都府警察本部と日赤京都支部が配布してた、人工呼吸に使うポケットマスクで、何時も携帯している。人形以外には使った事がないが、何時でも出来る態勢はとっている。

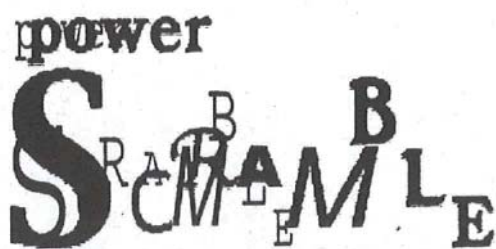
日赤での受講の話しになるが、1人が倒れている。自身は心臓マッサージと人工呼吸をするが、その先はどうする？そうです。手を止めてはいけません。手を止めずに通報してくれる人を呼ぶ、A.E.D. を持って来てくれる人を呼ぶ(探す)。さて、競技は進行しますが、誰かがA.E.D. を持って来てくれました。しかし、その方は使い方を知りません。どうしますか？手は止められません。そういった場面での応用を利かせるのが日赤での受講です。医科学委員会が日赤の救急員の受講を勧めているのは、その辺の事情があります。しかし、10年前には現場に医師や看護師に従事出来るかが課題であって、日赤の救急員がいるかどうかは問われなかった。兵庫県で全国大会を開催するとき、丁度自分は同じ京都支部で長年救急員をやってる友人の勧めで試験に合格し、また、兵庫県にも当時の協会役員に現役の消防吏員がおられた。

それ以降、今後は役員は少なくとも日赤各支部で受講するように訴えてきたが、誰もまともに聞いてくれなかった。2年前の春先に何度も登場してますが、和田高平さんから1本の電話があり、日赤の受講について教えて欲しいと申し出があった。概要だけでなく詳しく説明して理解をして頂いた。和田さん自身も今後のことを考えて受講されたいと言われたので、自分も真剣に説明し、その数ヶ月後に競争率が非常に高い大阪支部で受講され見事に試験に合格された。国家資格ではないが、客室乗務員など就職活動されてる方の必須アイテムでもあるんです。それぐらい大事なものであるから、自分は何年も受講を勧めてきた訳なんです。



余談であるが、昨秋のスポーツマスターズいしかわ大会の会場には医師、看護師に来て頂く事が出来ず、とりあえずは1人でも救急員が居れば良いと。あと、会場にあるA.E.D. は4カ所あって、何処に設置されてるかは事前に把握して、大会前日に機材を搬入する際に確認しておいた。

医科学委員会が受講を勧めるのであれば、先ずは現在のJ.P.A. の役員全員が日赤の救急員として資格を取得でもされないと説得力に欠けるのは言うまでもない。ゆくゆくは審判員にも必須アイテムとして条件につけてもいいと思う。



## ■ 石川県協会の役員2名

### 名誉の表彰

### 報告：コマンドー金澤

昨年師走の押し迫った土曜日に石川県協会の役員2名が名誉な表彰を受賞されたので、協会で祝賀会を兼ねた忘年会が金沢市内のホテルで開催された。

まずは三谷幹雄理事。実業団パワー、ベンチなどにも出ておられ御存知の方も多いと思う。

昨年霜月9日藍綬褒章を受賞。環境省での伝達式に出席後皇居で天皇陛下の拝謁があり、自然公園指導員として、33年間白山国立公園での自然環境保全活動に従事されてた実績が褒章の対象となったとのこと。

そして尾山登志子副理事長。J.P.A.のホームページ並びに本誌バックナンバーで中村一生氏のコラムにもあったが改めて紹介したい。平成27年度生スポーツ功労者として文科省の個人受賞者158名の1人として受賞された。石川県協会の副理事長を務めておられるが、金沢市協会の理事長や女性の為のスポーツ団体の役員として多忙な毎日を送られてる。長年女性スポーツ部門の活躍の場を引っ張っておられた実績が対象になった。中村一生氏の受賞の話は、いち早く情報が入っていましたが、尾山副理事長も同時に受賞されたのを知ったのは、少し時間が経過してからになりました。

北陸から2名も凄いな～と思ってる矢先に橋爪理事から三谷理事の藍綬褒章の話が入り、びっくり仰天なんたら・・・で、これは御祝いをせんとあかんやんってことで忘年会でやるには、お二方に大変失礼になるので、グレードアップして祝賀会の開催が決定。

当日は冷たい風が強く、如何にも冬の気候。時期的にスケジュールがつきにくい協会の重鎮も今回は特別に真っ先に駆けつけて下さり宴は始まった。

当協会の顧問である馳浩氏の秘書の方がお見えで、各テーブルにご挨拶に来られてたので、大臣に就任されたばかりですから来られる筈がないと思ってたら、何と宴が始まって30分後に予告も無く来場された。

自分が先に気付き、場内はヒートアップ。御来場の話は誰も知らなかった。警視庁警護課のSPが3名部屋の外で待機されてた。御祝いの言葉を頂いた後は、各テーブルに来られ記念撮影の時間に。

場内には20分ぐらいいしかおられなかったと思うが、よく時間の都合をつけて下さったと今でも感謝。

その後は今年1年を振り返った話し（特にスポーツマスターズ）や来年以降の協会としてどうするかなどの話しをして、自分も時間が許す限り京都から駆けつける約束をしてお開きになった。

写真後列右から紐野義昭顧問、馳浩文科省大臣、石田満雄会長、三谷幹雄理事、田中展郎顧問。  
前列右から尾山登志子副理事長、石田会長の奥様、三谷理事の奥様



power

**S** <sup>R</sup> <sup>A</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
C M L E

---

power

**S** **R** **A** **B** **A** **M** **L** **E**

■ **鈴木大地**

**スポーツ庁長官を訪問！**

**資料：JPA ホームページ**



power

**S** <sup>R</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
R A M L E  
C M L E

---



power

**S** <sup>R</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup> <sup>A</sup> <sup>M</sup> <sup>L</sup> <sup>E</sup>  
SCRAMBLE

---



power

**S**RAMBLE

■ **元気な**

**東名アスレチック！**

**報告：平野豊美**

power

**S** <sup>R</sup> <sup>B</sup> <sup>B</sup>  
C M L M L E  
**RAMBLE**

---